

議員提出第 13 号議案

長時間労働の規制強化を求める意見書

上記の議案を提出する。

平成 28 年 12 月 16 日

提出者	稲城市議会議員	岡	田	まなぶ
	〃	〃	山	岸 太 一

(提案理由)

国に対して、長時間労働の規制強化を求めるため。

## 長時間労働の規制強化を求める意見書

昨年12月、電通の女性新入社員が過労自殺した。ツイッターなどには「体も心もズタズタ」「もう4時だ。体が震えるよ・・・しぬ」「死にたいと思いながらこんなストレスフルな毎日を乗り越えた先に何が残るんだろうか」と、心身ともに追い詰められていく様子が残されていた。

過労死や過労自殺とみられる労働者の死亡事例は後を絶たず、2014年の過労死等防止対策推進法の施行後も、悲劇は繰り返されている。

政府が今年初めて発表した「過労死対策白書」でも、仕事が一因となった自殺は年間2000人を超すと指摘している。背景にあるのは異常な長時間労働で、労災認定の目安で「過労死ライン」といわれる月80時間を超えて社員が残業させられている企業が2割を超している。

過労死や過労自殺を生む異常な働き方をなくすために、残業時間の上限を法律で明記するなど、長時間労働の規制強化は不可欠である。

よって、稲城市議会は、働く人の命と健康、家族の暮らしを守り、健康で文化的な生活が保障される社会を実現していくために、長時間労働の規制強化を強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年12月16日

稲城市議会議長 原 島 茂

内閣総理大臣、内閣官房長官、厚生労働大臣 殿